

真岡市

公式サイト URL <http://www.city.moka.lg.jp/>

■市花 わた	市町類型	2-1	R2年国調人口	78,190人
	財政力指数(R3~R5平均)	0.83	住民基本台帳 (R6.3.31)	人口
■市木 けやき	職員数(R6.4.1)	499人		世帯数
■市鳥 ひばり	職員1人当り人口	158人	面積(km ²)	167.34

■施政方針

ふるさと真岡市が、栃木県をリードし、全国に誇れる都市となるため、市民との「絆」を大切に、対話・協働・連携を進めながら、その先頭に立って「選ばれる都市(まち)もおか」の実現のため、市政運営の推進を図ります。

その市政運営の原点となる、新たなまちづくりの方向性を、若い世代が希望を持って「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と思えるような、そして、楽しさを実感できる、『だれもが“わくわく”する街づくり』の実現を目指します。その実現に向け、本市の未来を見据えた5つのプロジェクト「こどもの元気な成長プロジェクト」「若い世代・子育て応援プロジェクト」「いつまでも安心な暮らしの実現プロジェクト」「とちぎをリードする産業プロジェクト」「まちの活力再生・魅力創出プロジェクト」を基本戦略に位置付け、各施策を積極的に展開します。

■重要事業

事業名	予算額(千円)	事業の概要
学校給食センター整備事業	1,885,654	安全でおいしい給食を提供するため、第一学校給食センターの建替工事及び第二学校給食センターの設備増強工事を実施します。 施設整備により、新たに食物アレルギーへの対応が可能になることから、運営開始に向けた準備を行います。
英語指導助手配置事業	76,234	市内全小中学校に英語指導助手(AET・JTE)を継続して配置することで、児童・生徒の英語を使ったコミュニケーション能力を向上させるとともに、国際感覚を養います。
こども家庭センター運営事業	4,302	すべての妊産婦、子育て世帯(保護者)、子どもを対象に、児童福祉(子ども家庭総合支援拠点)と母子保健(子育て世代包括支援センター)の一体的支援を行う「こども家庭センター」を設置し、相談体制の充実を図ります。
地域公共交通運行事業	111,664	交通弱者が利用しやすい公共交通の構築を目指すため、いちごタクシー、いちごバス、もおかベリ一号の利用状況やアンケートの分析から運行内容等を見直すとともに、利用促進の検討を行います。

産業団地整備事業	438, 109	<p>新たな産業団地である「真岡てらうち産業団地」の整備による企業誘致の推進として、用地買収や物件移転を進め、造成工事や道路築造工事等の進捗を図ります。また、企業誘致にあたっては、「真岡てらうち産業団地企業誘致基本方針」に基づき、本市における地域経済の持続可能な発展に資する優良企業の誘致を目指します。</p>
ICT 機器等を活用したスマート農業導入支援	16, 585	<p>ICTを活用したスマート農業の推進として、ICT機器の導入を支援することにより、いちご生産日本一を維持し、園芸作物の振興に繋がります。また、高精度な位置補正情報を提供するRTK基地局を整備するとともに、スマート農業機械の導入にかかる費用の一部を補助し、スマート農業の普及・促進を図ります。</p>
いがしらリゾート農業拠点施設整備事業	21, 058	<p>いがしらリゾート活性化事業の一環として、観光いちご園増設に向けて圃場の確保や就農者の育成を行うとともに、アグリゾーンの追加整備の検討や収穫体験圃場の運営により農業拠点として整備推進を図ります。</p>
日本一のいちごのまち PR 事業	7, 200	<p>いちご日本一のまち真岡のブランド力の向上を図るため、「いちご王国栃木の首都もおか」を活かしたPR事業を実施します。「真岡市のいちご」の情報を発信することで、真岡市が日本一のいちごのまちであることの認知度向上につなげます。</p>
複合交流拠点整備事業	2, 408, 865	<p>「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」複合交流拠点施設は、未来を築くもおかつ子が、心身ともに健やかに成長できるように支えるとともに、市民すべてに、新たな学びと発見の機会を提供する施設として、令和7年春の開館を目指して整備を進めます。</p>
いがしらリゾート活性化事業	399, 860	<p>井頭公園を核とした観光ゾーンの整備として、いがしらリゾートを魅力ある観光・交流の拠点とするため、各施設のブランド力を強化し、首都圏からの新たな誘客を図るとともに、施設間の連携を図ることで、エリア内での滞在時間の延伸と周遊性向上を推進していきます。</p>
中心市街地リノベーション事業	57, 885	<p>魅力ある市街地の創出として、中心市街地の未整備地域である「台町地区」では、暮らしやすく魅力のある居住環境の形成に向け、ときわ町通りの整備に向けて、地域と事業内容をさらに協議していきます。また、「荒町・田町地区」では、都市計画道路中郷八木岡線の整備に向けて調査・測量や地権者との合意形成を図り、事業を推進していきます。</p>